

2 成人・老人保健

本市では市民の健康の保持・増進を図るため、健康増進法第 17 条第 1 項及び第 19 条の 2 に基づき、健康相談、健康教育、各種がん検診等の健康増進事業を実施している。

また、健康増進法に基づく事業以外に、胃がんリスク検診（胃の健康度検査）を実施している。

(1) 大津市がん対策推進基本計画

「大津市がん対策推進条例」に基づき、がんの予防及び早期発見の推進をはじめ、療養生活の質的向上及びがん患者とその家族への支援などのがん対策について総合的かつ計画的に推進するために、この計画が策定された。

平成 30 年 10 月からは、『アピアランスケア支援事業』を開始し、がん患者の療養生活の質的向上のため購入する補整用具（ウィッグ・帽子）の購入に係る費用を助成している。

助成対象者

抗がん剤治療等の副作用による脱毛症状に対処するためにウィッグや帽子を購入し、現にがん治療を受けている、又は過去にがん治療を受けていた市民

助成金額 補整用具の購入に要した費用に相当する額と、10,000 円のいずれか少ない方の額

申請 助成対象者 1 人につき、生涯 1 回限り

申請状況 (令和 2 年度)

合計	男性	女性
122 人	0 人	122 人

(2) 健康手帳の交付

健(検)診の記録や保健指導の記録等を記載し、自らの健康管理に役立てるために、おおむね 40 歳以上の希望者に対して健康手帳を交付している。

健康手帳交付状況

交付数
345 冊

(3) 健康教育

生活習慣病や疾病の予防、介護を要する状態となることの予防、その他健康に関する事項について正しい知識の普及を図るとともに、「自らの健康は自らが守る」という認識と自覚を高め、健康の保持増進に資することを目的に各すこやか相談所において健康教育を実施している。

各すこやか相談所において地域住民を対象に地域の健康課題に応じた健康教育を企画し、実施している。また、各学区の地域組織や各種団体の依頼に応じ、生活習慣病予防等の健康教育を市民センターや地域自治会館等において実施している。

集団健康教育実施状況

〈健康増進事業〉

(単位：回・人)

区分	合計	骨粗鬆症予防	健康増進	メタボリックシンドローム	食生活	がん予防	生活習慣病予防	禁煙	他の疾病予防
開催回数	8	2	5	-	-	-	-	-	1
参加延人数	171	31	125	-	-	-	-	-	15

〈介護予防普及啓発事業〉

(単位：回・人)

区分	合計	介護 予防	転倒 予防	食生活	口腔 ケア	がん 予防	閉じこ もり予 防	認知症 予防	健康 づくり	骨粗 鬆症	地域 づくり	生活習 慣病予 防	他の疾 病予防
開催回数	22	9	1	-	3	1	-	-	3	2	-	-	3
参加延人数	305	170	8	-	32	5	-	-	20	29	-	-	41

(4) 健康相談

心身の健康に関する個別の相談に応じ、必要な指導及び助言を行うことにより、生活習慣病や疾病の予防及び健康の保持増進を図っている。各すこやか相談所においては、毎日（祝祭日及び土、日を除く）健康相談室を開設し、市民の健康に関する相談に応じている。また、地域によっては、市民センターやショッピングセンターでの健康推進課相談日を設けている。さらに地域からの依頼により、各学区老人クラブ等を対象とした健康相談も実施している。

健康相談実施状況

(単位：回・人)

相談方法	実施 回数	相談延人数				相談延件数											
		母子	成人・ 老人	精神	合計	母子					成人・老人				精神	合計	
						乳児	幼児	妊産 婦	思春 期	小計	重点	64歳 以下	65歳 以上	小計			
来 所 相 談	すこやか	1,687	2,262	198	129	2,589	2,616	1,051	28	14	3,709	-	66	147	213	142	4,064
	学区定例	42	255	6	-	261	384	156	-	1	541	-	13	1	14	-	555
	老人クラブ	14	-	125	-	125	-	-	-	-	-	-	24	103	127	-	127
	その他	66	378	69	-	447	323	290	-	-	613	-	-	70	70	-	683
	小計	1,809	2,895	398	129	3,422	3,323	1,497	28	15	4,863	-	103	321	424	142	5,429
電話相談		1,532	160	1,677	3,369	1,186	597	181	15	1,979	-	105	60	165	1,699	3,843	
合 計	1,809	4,427	558	1,806	6,791	4,509	2,094	209	30	6,842	-	208	381	589	1,841	9,272	

(5) 訪問指導

療養上の保健指導が必要と認められる者及びその家族等に対して、各すこやか相談所の保健師等が家庭を訪問して、その健康に関する問題を総合的に把握し、必要な指導を行い、これらの者の心身機能の低下の防止と健康の保持増進を図っている。健康増進法に基づく訪問指導は、40歳から64歳までの市民が対象となっている。

訪問実人数(人)	15	訪問延人数(人)	16
----------	----	----------	----

(6) 肝炎ウイルス検診

肝炎対策の一環として、肝炎ウイルスに関する正しい知識を普及させるとともに、市民が自身の肝炎ウイルス感染の状況を認識し、必要に応じて医療機関を受診することにより、肝炎による健康障害の回避、症状の軽減、又は進行の遅延を図ることを目的として、肝炎ウイルス検診を実施している。事業を開始した平成14年度は老人保健法に基づき実施し、平成20年度からは健康増進法に基づき実施している。

また、国の「肝炎ウイルス検診等実施要領」の一部改正により、平成23年度から個別受診勧奨として、年度年齢41歳から61歳の5歳刻みの節目年齢で、過去に肝炎ウイルス検診を受診していない者に対して無料クーポン券を送付している。さらに、平成28年度からは検診初年度となる年度年齢40歳の者に対し無料クーポン券を送付し、受診促進を図っている。

平成29年度より、従来の医療機関委託による個別方式に加え、集団特定健診と同時実施による集団方式を実施しており、受診機会の拡大を図っている。

対象者

当該年度において40歳以上の市民で、以下のいずれかに該当する者。原則生涯に1回。

ア 過去に肝炎ウイルス検診を受診したことがない者

イ 特定健診及びその他の法令に基づき行われる特定健診に相当する健康診断の結果において、肝機能検査の数値のうち、いずれか1つでも保健指導判定値であった者

実施方法 実施医療機関への委託による個別方式及び集団特定健診と同時実施による集団方式

検査内容 B型肝炎ウイルス検診及びC型肝炎ウイルス検診

検診料 1,000円

(ただし、無料クーポン券交付者、70歳以上の者、生活保護世帯等及び市税非課税世帯の者、65歳から69歳の後期高齢者医療制度加入者は無料。また大津市国民健康保険加入者は、国民健康保険の助成により無料。)

実施方法別受診者数

個別方式 2,001人 集団方式 282人 (13回実施)

無料クーポン券利用状況

対象者数 22,580人 受診者数 2,007人 利用率 8.9%

年齢別性別検診結果

(単位：人)

区 分	総 数		40～44歳		45～49歳		50～54歳		55～59歳		60～64歳		65～69歳		70歳以上			
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		
受診者数	2,283	1,005	1,278	330	607	133	148	185	163	172	149	135	151	24	24	26	36	
検診結果	B型陽性	4	3	1	1	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	
	B型陰性	2,279	1,002	1,277	329	607	132	148	184	163	172	149	135	151	24	24	26	35
	C型「現在、C型肝炎ウイルスに感染している可能性が高い」	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	
	C型「現在、C型肝炎ウイルスに感染している可能性が低い」	2,281	1,003	1,278	330	607	133	148	185	163	172	149	133	151	24	24	26	36

(7) がん検診

がん検診は、老人保健法に基づく健康診査として実施(補助金による財源措置)し、平成10年度からは老人保健法に基づく健康診査から除かれ、一般の疾病対策の一環として実施していた。平成20年度より健康増進法に基づく健康増進事業として位置づけられ、「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針について」に基づき実施(地方交付税による財源措置)している。

① 胃がん検診

胃がんの罹患率、死亡率は減少傾向ではあるが、男女とものがんによる死亡の上位を占めている。本市では、胃がんを早期発見・早期治療することで、胃がんの死亡率を減少させることを目的として胃がん検診を実施している。集団方式による胃部エックス線検査に加え、平成30年2月からは胃内視鏡検査を医療機関委託により個別方式でも実施している。

また、大津市胃がん検診協議会を設置して検診の精度管理を行っている。

ア. 胃部エックス線検査

対象者 当該年度において40歳以上の市民で1年度に1回

実施方法 検診車による集団検診(検診機関への委託)
各学区市民センター等において実施:35回

検査内容 バリウムによる胃部エックス線検査

検診料 1,600円

(ただし、70歳以上の者、生活保護世帯等及び市民税非課税世帯の者、65歳から69歳の後期高齢者医療制度加入者は無料。また大津市国民健康保険加入者は、国民健康保険の助成により無料。)

胃部エックス線検査結果

(単位:人・%)

	全年齢			(再掲)40~69歳		
	総数	男	女	計	男	女
対象者数	110,035 (53,275)	41,569 (24,365)	68,466 (28,910)	47,190 (32,001)	15,944 (14,757)	31,246 (17,244)
受診者数	1,069 (689)	497 (349)	572 (340)	601 (411)	224 (190)	377 (221)
受診率	1.0	1.2	0.8	1.3	1.4	1.2
要精検者数	36	24	12	13	6	7
要精検率	3.4	4.8	2.1	2.2	2.7	1.9
精検受診者数	30	20	10	11	6	5
精検受診率	83.3	83.3	83.3	84.6	100	71.4
胃がん	-	-	-	-	-	-
がん発見率	-	-	-	-	-	-

※精密検査受診結果については令和3年4月30日現在

※対象者数=年度当初人口-就業者数(平成27年国勢調査)+農林水産業従事者数(平成27年国勢調査)

※() (再掲)大津市国民健康保険の被保険者

年齢別性別検診結果及び精密検査受診結果(令和3年4月30日現在)

(単位:人・%)

区分	総数	40~44歳		45~49歳		50~54歳		55~59歳		60~64歳		65~69歳		70歳以上			
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		
受診者数	1,069	497	572	30	85	27	46	17	37	11	32	35	71	104	106	273	195
(再掲)初回受診者集	283	123	160	14	41	6	15	3	15	6	12	19	24	29	27	46	26
初回受診割合	26.5	24.7	28.0	46.7	48.2	22.2	32.6	17.6	40.5	54.5	37.5	54.3	33.8	27.9	25.5	16.8	13.3
検診結果																	
精検不要者数	1,033	473	560	29	85	26	46	17	35	11	32	35	70	100	102	255	190
要精検者数	36	24	12	1	-	1	-	-	2	-	-	-	1	4	4	18	5
要精検率	3.4	4.8	2.1	3.3	-	3.7	-	-	5.4	-	-	-	1.4	3.8	3.8	6.6	2.6
精検受診者数	30	20	10	1	-	1	-	-	1	-	-	-	1	4	3	14	5
胃がん	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
がんの疑い	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
胃がん以外の疾患	29	19	10	1	-	1	-	-	1	-	-	-	1	4	3	13	5
異常なし	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

イ. 胃内視鏡検査

対象者 当該年度において50歳以上の偶数年齢の市民で2年度に1回

実施方法 実施医療機関に委託して、個別方式で実施

検査方法 胃内視鏡検査

検診料 4,000円

(ただし、70歳以上の者、生活保護世帯等及び市民税非課税世帯の者、65歳から69歳の後期高齢者医療制度加入者は無料。また大津市国民健康保険加入者は、国民健康保険の助成により無料。)

年齢別性別検診結果及び精密検査受診結果(令和3年4月30日現在)

(単位:人・%)

区分	総数		50～54歳		55～59歳		60～64歳		65～69歳		70歳以上			
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		
受診者数	438 (350)	188 (149)	250 (201)	10 (6)	18 (13)	9 (8)	18 (10)	23 (17)	55 (46)	34 (34)	47 (46)	112 (84)	112 (86)	
検診結果	精検不要者数	409	174	235	8	18	8	17	22	52	30	44	106	104
	要精検者数	29	14	15	2	-	1	1	1	3	4	3	6	8
	生検受診者数	28	13	15	1	-	1	1	1	3	4	3	6	8
	生検率	6.4	6.9	6.0	10.0	0.0	11.1	5.6	4.3	5.5	11.8	6.4	5.4	7.1
	検診時生検未受診のうち要再検査者数	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
精検受診者数	29	14	15	2	-	1	1	1	3	4	3	6	8	
精密検査結果	胃がん	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
	胃がんの疑い	2	1	1	-	-	-	-	-	1	-	-	1	
	胃がん以外の疾患	23	10	13	2	-	1	1	1	3	2	3	4	6
	異常なし	3	2	1	-	-	-	-	-	-	1	-	1	1

※ () (再掲) 天津市国民健康保険の被保険者

② 大腸がん検診

高齢化の影響もあり、大腸がんの死亡者数や死亡率は増加傾向にある。そこで本市では大腸がんを早期発見・早期治療することで、大腸がんの死亡率の減少を図ることを目的に大腸がん検診を実施している。平成2年度から老人保健法に基づき実施し、平成5年度からは医療機関に委託して実施している。平成30年度より集団特定健診と同時実施による集団方式を実施、令和元年度に5がん(胃・肺・大腸・乳・子宮)セット検診を実施しており、受診機会の拡大を図っている。

対象者 当該年度において40歳以上の市民で1年度に1回

実施方法 実施医療機関への委託による個別方式及び集団特定健診と同時実施による集団方式

検査方法 便潜血検査(免疫便潜血検査2日法、OCセンサー方式)

検診料 800円

(ただし、70歳以上の者、生活保護世帯等及び市民税非課税世帯の者、65歳から69歳の後期高齢者医療制度加入者は無料。また天津市国民健康保険加入者は、国民健康保険の助成により無料。)

実施方法別受診者数

個別方式 13,593人 集団方式 934人(13回実施)

大腸がん検診結果

(単位:人・%)

	全年齢			(再掲) 40～69歳		
	総数	男	女	計	男	女
対象者数	110,035 (53,324)	41,569 (24,406)	68,466 (28,918)	47,190 (33,010)	15,944 (15,245)	31,246 (17,765)
受診者数	14,527 (9,493)	5,530 (3,809)	8,997 (5,684)	6,743 (5,103)	2,255 (2,017)	4,488 (3,086)
受診率	13.2	13.3	13.1	14.3	14.1	14.4
要精検者数	907	426	481	337	127	210
要精検率	6.2	7.7	5.3	5.0	5.6	4.7
精検受診者数	728	330	398	272	98	174
精検受診率	80.3	77.5	82.7	80.7	77.2	82.9
大腸がん	25	17	8	5	2	3
がん発見率	0.17	0.31	0.09	0.07	0.09	0.07

※精密検査受診結果については令和3年4月30日現在

※対象者数=年度当初人口-就業者数(平成27年国勢調査)+農林水産業従事者数(平成27年国勢調査)

※精密検査受診者数及び受診率については、原則指針に基づいた精密検査方法で実施しているもののみ計上する。

※ () (再掲) 天津市国民健康保険の被保険者

年齢別性別検診結果及び精密検査受診結果(令和3年4月30日現在)

(単位：人・%)

区 分	総 数		40～44 歳		45～49 歳		50～54 歳		55～59 歳		60～64 歳		65～69 歳		70 歳以上				
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女			
受診者数	14,527	5,530	8,997	180	390	226	420	258	470	234	572	339	941	1,018	1,695	3,275	4,509		
(再掲)初回受診者数	3,464	1,369	2,095	104	211	72	195	80	169	73	197	128	266	305	358	607	699		
	23.8	24.8	23.3	57.8	54.1	31.9	46.4	31.0	36.0	31.2	34.4	37.8	28.3	30.0	21.1	18.5	15.5		
検診結果	精検不要者数	13,620	5,104	8,516	171	371	216	399	249	451	220	551	320	899	952	1,607	2,976	4,238	
	要精検者数	907	426	481	9	19	10	21	9	19	14	21	19	42	66	88	299	271	
	要精検率	6.2	7.7	5.3	5.0	4.9	4.4	5.0	3.5	4.0	6.0	3.7	5.6	4.5	6.5	5.2	9.1	6.0	
精検受診者数	728	330	398	8	14	7	18	6	14	11	19	13	35	53	74	232	224		
精密検査結果	大腸がん	早期がん	17	11	6	-	-	-	-	-	1	-	1	1	-	1	9	4	
		進行がん	8	6	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	6	1	
		進行期不明	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	ポリプ	腺腫性	369	194	175	1	3	1	6	4	4	4	9	9	13	36	31	139	109
		過形成性	55	22	33	1	1	2	3	-	1	2	2	-	4	2	6	15	16
		その他	18	8	10	-	1	-	1	-	-	-	-	-	1	2	3	6	4
	潰瘍性大腸炎	2	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	
	その他炎症性腸疾患	4	-	4	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	
	憩室	59	21	38	-	-	1	1	-	-	1	-	-	1	4	10	15	26	
	痔核	62	24	38	-	-	-	3	1	4	1	5	1	5	2	7	19	14	
	その他	18	12	6	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	4	-	7	5	
	異常なし	116	31	85	6	7	3	4	1	5	1	3	2	10	2	14	16	42	

③ 肺がん結核検診

我が国のがんによる死亡者数は、現在、肺がんが最も多く、その罹患率及び死亡率は年々増加しつつある。そこで本市では、肺がんを早期発見・早期治療することで、肺がんの死亡率を減少させることを目的に、平成22年10月より肺がん検診を実施している。また、結核については、住民結核検診として65歳以上の者を対象に検診車による集団検診を実施していたが、平成26年度に肺がん検診に統合し、肺がん結核検診として、近くの実施医療機関で受診できるよう個別方式に変更した。平成29年度より集団特定健診と同時実施による集団方式を実施、令和元年度に5がん（胃・肺・大腸・乳・子宮）セット検診を実施しており、受診機会の拡大を図っている。

対 象 者 当該年度において40歳以上の市民で1年度に1回

実施方法 実施医療機関への委託による個別方式及び集団特定健診と同時実施による集団方式

検査内容 胸部エックス線検査、喀痰細胞診（対象者に条件あり。個別方式のみ）

検 診 料 胸部エックス線検査 800 円 喀痰細胞診 1,000 円

（ただし、70歳以上（胸部エックス線検査については65歳以上）の者、生活保護世帯等及び市民税非課税世帯の者、65歳から69歳の後期高齢者医療制度加入者は無料。また大津市国民健康保険加入者は、国民健康保険の助成により無料。）

実施方法別受診者数

個別方式 16,089 人 集団方式 712 人（6回実施）

肺がん結核検診結果

(単位：人・%)

	全 年 齢			(再掲) 40～69 歳		
	総数	男	女	計	男	女
対象者数	110,035 (53,275)	41,569 (24,365)	68,466 (28,910)	47,190 (32,001)	15,944 (14,757)	31,246 (17,244)
受診者数	16,801 (10,377)	6,656 (4,333)	10,145 (6,044)	6,779 (5,402)	2,435 (2,212)	4,344 (3,190)
受診率	15.3	16.0	14.8	14.4	15.3	13.9
要精検者数	905 [715]	420 [324]	485 [391]	271 [218]	122 [92]	149 [126]
要精検率	5.4 [4.3]	6.3 [4.9]	4.8 [3.9]	4.0 [3.2]	5.0 [3.8]	3.4 [2.9]
精検受診者数	812 [650]	370 [288]	442 [362]	252 [203]	111 [84]	141 [119]
精検受診率	89.7 [90.9]	88.1 [88.9]	91.1 [92.6]	93.0 [93.1]	91.0 [91.3]	94.6 [94.4]
肺がん	8 [8]	7 [7]	1 [1]	3	3	-
がん発見率	0.05	0.11	0.01	0.04	0.12	-

※精密検査受診結果については令和3年4月30日現在

※対象者数=年度当初人口-就業者数(平成27年国勢調査)+農林水産業従事者数(平成27年国勢調査)

※() (再掲) 大津市国民健康保険の被保険者

※[]内の数字はE判定の結果(E判定:X線検査及び喀痰細胞診の結果、肺がんを疑うもの)

年齢別性別検診結果及び精密検査受診結果(令和3年4月30日現在)

(単位：人・%)

区 分	総 数		40～44 歳		45～49 歳		50～54 歳		55～59 歳		60～64 歳		65～69 歳		70 歳以上			
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		
受診者数	16,801	6,656	10,145	191	354	232	368	274	405	255	502	380	906	1,103	1,809	4,221	5,801	
(再掲)喀痰検査実施者数	1,096	1,001	95	-	-	-	-	26	5	39	10	63	12	201	22	672	46	
(再掲)初回受診者数	3,455	1,411	2,044	110	185	64	146	71	129	81	159	128	249	303	349	654	827	
初回受診割合	20.6	21.2	20.1	57.6	52.3	27.6	39.7	25.9	31.9	31.8	31.7	33.7	27.5	27.5	19.3	15.5	14.3	
精検不要者数	15,896	6,236	9,660	182	345	226	360	261	391	241	489	365	875	1,038	1,735	3,923	5,465	
要精検者数	905	420	485	9	9	6	8	13	14	14	13	15	31	65	74	298	336	
精検率	5.4	6.3	4.8	4.7	2.5	2.6	2.2	4.7	3.5	5.5	2.6	3.9	3.4	5.9	4.1	7.1	5.8	
(再掲)E判定者数	715	324	391	5	6	4	7	11	9	9	12	12	30	51	62	232	265	
E判定率	4.3	4.9	3.9	2.6	1.7	1.7	1.9	4.0	2.2	3.5	2.4	3.2	3.3	4.6	3.4	5.5	4.6	
精検受診者数	812	370	442	8	9	5	6	12	13	12	12	15	31	59	70	259	301	
精密検査結果	原発性肺がん	7	6	1	-	-	-	-	-	1	-	1	-	1	-	3	1	
	転移性肺がん	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	
	その他のがん	4	3	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	-	
	がんの疑い	52	26	26	-	1	-	-	1	1	2	1	2	1	4	6	17	16
	その他の肺病変	316	143	173	3	2	2	2	2	5	3	4	4	10	24	28	105	122
	肺結核症	11	4	7	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	1	2	5
	その他	114	52	62	-	-	-	-	3	1	1	-	3	7	8	8	37	46
	異常なし	307	135	172	5	6	3	4	6	6	5	7	4	12	21	26	91	111

④ 子宮頸がん検診

子宮頸がんは、ヒトパピローマウイルス（HPV）の感染が主な原因とされ、20～30歳代で増加傾向にある。子宮頸がんは早期に治療を行えばほとんどが治癒することから、早期発見が重要となっている。そこで本市では、子宮頸がんを早期発見、早期治療することで、子宮頸がんの死亡率を減少させることを目的に子宮頸がん検診を実施している。

平成10年度までは子宮がん検診として実施してきたが、平成11年度から有症状者を対象とする体部がん検診は医療の範疇として廃止し、子宮頸がん検診のみを実施している。また、平成17年度から、国の「がん検診実施のための指針」の一部改正に伴い、本市でも対象年齢を30歳以上から20歳以上に変更し、受診回数は2年度に1回とした。平成23年度からは、受診機会の拡大を目的に、滋賀県内19市町が集合契約を締結し県内全域の委託医療機関で受診可能となった。令和元年度には5がん（胃・肺・大腸・乳・子宮）セット検診、令和2年度には乳がん検診とのセット検診を実施した。

地方交付税の上乗せとして平成21年度から「女性特有のがん検診推進事業」、平成23年度から「がん検診推進事業」、平成26年度は「働く世代の女性支援のためのがん検診推進事業」、平成27年度からは「新たなステージに入ったがん検診の総合支援事業」による補助制度を活用し、21歳の昨年度未受診者に無料クーポン券を送付している。また、市単独事業として20歳全員に無料クーポン券、22歳～69歳の昨年度未受診者に対し、有料受診券を送付することで受診促進を図っている。

対象者 当該年度において20歳以上の女性市民で2年度に1回

実施方法 県内登録医療機関による個別方式及び検診機関委託による集団方式で実施

検査内容 問診、視診、内診、子宮頸部の細胞診

検診料 1,600円

（ただし、無料クーポン券交付者、70歳以上の者、生活保護世帯等及び市民税非課税世帯の者は無料。また大津市国民健康保険加入者は、国民健康保険の助成により無料。）

子宮頸がん検診結果

（単位：人・％）

	全年齢	(再掲) 20～69歳
対象者数	80,922 (33,245)	43,702 (22,092)
受診者数	12,122 (2,135)	11,604 (1,867)
前年度受診者数	10,681	10,050
連続受診者数	-	-
受診率	28.2	49.5
要精検者数	397	392
要精検率	3.3	3.4
精検受診者数	279	276
精検受診率	70.3	70.4
子宮頸がん	3	2
がん発見率	0.02	0.02

※子宮頸がん検診は、受診間隔が2年度に1回となるため、以下の方法で受診率を算出する。

（「前年度の受診者数」＋「当該年度の受診者数」－「連続受診者数」）／（当該年度の対象者数）×100

※精密検査受診結果については令和3年4月30日現在

※対象者数＝年度当初人口－就業者数（平成27年国勢調査）

※精密検査受診者数及び受診率については、原則指針に基づいた精密検査方法で実施しているもののみ計上する。

※（ ）（再掲）大津市国民健康保険の被保険者

無料クーポン券利用状況

対象者数 3,329人 受診者数 273人 受診率 8.2%

年齢別検診結果及び精密検査受診結果（令和3年4月30日現在）

（単位：人・％）

区 分		総計	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上			
受診者数		12,122	693	952	1,251	1,635	1,760	1,665	1,344	1,042	744	518	518			
	（再掲）初回受診者	5,207	550	557	641	583	643	627	430	309	300	298	269			
	初回受診割合	43.0	79.4	58.5	51.2	35.7	36.5	37.7	32.0	29.7	40.3	57.5	51.9			
健診結果	精検不要	11,725	655	908	1,192	1,575	1,712	1,603	1,299	1,020	740	508	513			
	要精検者数	397	38	44	59	60	48	62	45	22	4	10	5			
	要精検率	3.3	5.5	4.6	4.7	3.7	2.7	3.7	3.3	2.1	0.5	1.9	1.0			
精検受診者数		279	26	29	35	46	34	49	30	16	3	8	3			
実施方法別内訳	個別検診	扁平上皮がん I b 期～	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-			
		扁平上皮がん I a 期	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
		頸部腺がん I b 期～	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1		
		頸部腺がん I a 期	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
		頸部がん(進行期不明)	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-		
		頸部がん疑い	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
		上皮内腺がん	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
		体部内膜がん I b 期～	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
		体部内膜がん I a 期	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
		体部内膜がん(進行期不明)	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-		
		異形成高度	25	-	2	5	6	2	5	3	1	-	1	-		
		異形成中等度	31	3	4	4	6	5	4	3	1	-	-	1		
		異形成軽度	114	14	16	17	22	12	19	6	6	2	-	-		
		異形成不明	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-		
		頸部腺異形成	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
		細胞診異常	8	1	-	1	1	-	2	2	1	-	-	-		
		内膜異形増殖症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
		内膜増殖症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
		膣炎	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1		
		頸管炎	6	2	-	1	-	-	1	-	1	-	1	-		
		頸管ポリープ	2	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-		
		子宮膣部びらん	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
		卵巣腫瘍	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
		その他	2	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-		
		特記すべき病変なし		85	6	7	7	11	11	17	13	6	1	5	1	
		実施方法別内訳	個別検診	受診者数	12,074	693	952	1,251	1,635	1,744	1,655	1,341	1,039	740	513	511
				初回受診者数	5,175	550	557	641	583	635	620	427	307	297	295	263
初回受診割合	42.9			79.4	58.5	51.2	35.7	36.4	37.5	31.8	29.5	40.1	57.5	51.5		
検査結果	精検不要者数			11,677	655	908	1,192	1,575	1,696	1,593	1,296	1,017	736	503	506	
	要精検者数			397	38	44	59	60	48	62	45	22	4	10	5	
精検受診者数				279	26	29	35	46	34	49	30	16	3	8	3	
精密検査結果	扁平上皮がん I b 期～			1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
	扁平上皮がん I a 期			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	頸部腺がん I b 期～			1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
	頸部腺がん I a 期			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	頸部がん(進行期不明)			1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	
	頸部がん疑い			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	上皮内腺がん			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	体部内膜がん I b 期～			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	体部内膜がん I a 期			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
体部内膜がん(進行期不明)	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-				

	異形成高度	25	-	2	5	6	2	5	3	1	-	1	-
	異形成中等度	31	3	4	4	6	5	4	3	1	-	-	1
	異形成軽度	114	14	16	17	22	12	19	6	6	2	-	-
	異形成不明	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
	頸部腺異形成	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	細胞診異常	8	1	-	1	1	-	2	2	1	-	-	-
	内膜異形増殖症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	内膜増殖症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	膣炎	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
	頸管炎	6	2	-	1	-	-	1	-	1	-	1	-
	頸管ポリープ	2	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-
	子宮膣部びらん	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	卵巣腫瘍	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他	2	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-
	特記すべき病変なし	85	6	7	7	11	11	17	13	6	1	5	1
集団 検診	受診者数	48	-	-	-	-	16	10	3	3	4	5	7
	初回受診者数	32	-	-	-	-	8	7	3	2	3	3	6
	初回受診割合	66.7	-	-	-	-	50.0	70.0	100.0	66.7	75.0	60.0	85.7
	精検不要者数	48	-	-	-	-	16	10	3	3	4	5	7
	要精検者数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

⑤ 乳がん検診

乳がんは年々増加しており、40歳代後半と60歳代が罹患率のピークになっている。乳がんの罹患率は女性のがんで1位となっているが、早期治療により治癒が可能と言われている。そこで本市では、乳がんの早期発見・早期治療により、乳がんの死亡率の減少を図ることを目的に乳がん検診を実施している。

平成13年9月までは30歳以上の女性市民を対象に視触診による乳がん検診を実施してきたが、平成13年10月から、50歳以上の女性市民を対象に視触診・マンモグラフィ併用法を一部導入した。平成17年度から国の「がん検診実施のための指針」の一部改正に伴い、本市でも40歳以上の女性市民を対象とした視触診・マンモグラフィ併用法による乳がん検診に変更し、受診回数は2年度に1回とした。平成29年度からマンモグラフィ単独検診となったことで、集団検診の予約枠数が40人から60人に増加し、平成30年度は集団特定健診との同日実施で乳がん検診を実施、令和元年度に5がん（胃・肺・大腸・乳・子宮）セット検診、令和2年度に子宮頸がん検診とのセット検診を実施し、受診機会の拡大を図っている。

地方交付税の上乗せとして、平成21年度から「女性特有のがん検診推進事業」、平成23年度から「がん検診推進事業」、平成26年度は「働く世代の女性支援のためのがん検診推進事業」、平成27年度からは「新たなステージに入ったがん検診の総合支援事業」による補助制度を活用し、41歳の未受診者に無料クーポン券を送付している。また、市の単独事業として、40歳全員に無料クーポン券、年度年齢42～69歳までの昨年度未受診者に受診勧奨はがきを送付することで受診促進を図っている。

対象者 当該年度において40歳以上の女性市民で2年度に1回

実施方法 登録医療機関委託による個別方式及び検診機関委託による集団方式で実施

検査内容 マンモグラフィ単独法

検診料 個別検診で40歳代2,000円、50歳以上1,600円

集団検診で40歳代2,100円、50歳以上1,800円

（ただし、無料クーポン券交付者、70歳以上の者、65歳から69歳の後期高齢者医療制度加入者、生活保護世帯等及び市民税非課税世帯の者は無料。また大津市国民健康保険加入者は、国民健康保険の助成により無料。）

乳がん検診結果

(単位：人・%)

	全年齢	(再掲) 40～69 歳
対象者数	68,466 (28,918)	31,246 (17,765)
受診者数	4,019 (1,283)	3,534 (942)
前年度受診者数	5,713	5,004
連続受診者数	-	-
受診率	14.2	27.3
要精検者数	313	290
要精検率	7.8	8.2
精検受診者数	272	252
精検受診率	86.9	86.9
乳がん	15	12
がん発見率	0.37	0.34

※乳がん検診は、受診間隔が2年度に1回となるため、以下の方法で受診率を算出する。

$$\left(\text{「前年度の受診者数」} + \text{「当該年度の受診者数」} - \text{「連続受診者数」} \right) \div \left(\text{当該年度の対象者数} \right) \times 100$$

※精密検査受診結果については令和3年4月30日現在

※対象者数=年度当初人口-就業者数(平成27年国勢調査)+農林水産業従事者数(平成27年国勢調査)

※() (再掲) 大津市国民健康保険の被保険者

無料クーポン券利用状況

対象者数 4,014人 受診者数 576人 受診率 14.3%

年齢別検診結果及び精密検査受診結果(令和3年4月30日現在)

(単位:人・%)

区 分		総 数	40～44 歳	45～49 歳	50～54 歳	55～59 歳	60～64 歳	65～69 歳	70 歳以上		
受診者数		4,019	913	642	494	556	473	456	485		
	(再掲) 初回受診者数	1,928	698	252	197	176	207	235	163		
	初回受診割合	48.0	76.5	39.3	39.9	31.7	43.8	51.5	33.6		
検診結果	精検不要者数	3,706	831	581	446	528	446	412	462		
	要精検者数	313	82	61	48	28	27	44	23		
	要精検率	7.8	9.0	9.5	9.7	5.0	5.7	9.6	4.7		
精検受診者数		272	72	54	36	27	25	38	20		
精密検査結果	乳がん	15	1	2	-	2	2	5	3		
	線維腺腫	23	8	3	4	1	2	2	3		
	乳腺症	82	21	15	18	7	6	8	7		
	その他	27	9	5	3	4	3	2	1		
	乳がん疑い	-	-	-	-	-	-	-	-		
	異常なし	125	33	29	11	13	12	21	6		
実施方法別内訳	個別検診	受診者数	3,586	829	576	445	508	429	405	394	
		(再掲) 初回受診者数	1,706	648	221	172	158	182	206	119	
		初回受診割合	47.6	78.2	38.4	38.7	31.1	42.4	50.9	30.2	
		検診結果	精検不要者数	3,294	751	518	400	482	405	364	374
			要精検者数	292	78	58	45	26	24	41	20
		精検受診者数		253	68	52	34	25	22	35	17
		精密検査結果	乳がん	13	1	2	-	2	2	4	2
			線維腺腫	21	7	3	4	1	1	2	3
			乳腺症	74	21	14	16	5	5	8	5
			その他	26	8	5	3	4	3	2	1
			乳がん疑い	-	-	-	-	-	-	-	-
			異常なし	119	31	28	11	13	11	19	6
	集団検診	受診者数	433	84	66	49	48	44	51	91	
		(再掲) 初回受診者数	222	50	31	25	18	25	29	44	
		初回受診割合	51.3	59.5	47.0	51.0	37.5	56.8	56.9	48.4	
		検診結果	精検不要者数	412	80	63	46	46	41	48	88
			要精検者数	21	4	3	3	2	3	3	3
		精検受診者数		19	4	2	2	2	3	3	3
		精密検査結果	乳がん	2	-	-	-	-	-	1	1
			線維腺腫	2	1	-	-	-	1	-	-
			乳腺症	8	-	1	2	2	1	-	2
			その他	1	1	-	-	-	-	-	-
			乳がん疑い	-	-	-	-	-	-	-	-
			異常なし	6	2	1	-	-	1	2	-

⑥ 胃がんリスク検診（胃の健康度検査）

平成 24 年 10 月より、従来の胃がん検診に加え胃がんリスク検診（胃の健康度検査）を導入した。胃がんリスク検診は、胃がんリスクの高い人を早期に発見し、医療につなげることで、胃がんの死亡率の減少を図ることを目的に実施している。平成 29 年度より 2 巡目を迎え、令和 2 年度は 2 巡目の 4 年目となる。

対象者 当該年度において 41 歳、46 歳、51 歳、56 歳、61 歳の市民
（ただし、1 巡目に受けた者を除く。）

実施方法 実施医療機関に委託し個別方式で実施

実施期間 令和 2 年 6 月から令和 3 年 3 月 31 日まで

検査内容 血清ペプシノゲン検査、血清ヘリコバクター・ピロリ菌抗体検査

検診料 1,300 円

（ただし、生活保護世帯等及び市民税非課税世帯の者は無料。また大津市国民健康保険加入者は、国民健康保険の助成により無料。）

年齢別性別検診結果及び精密検査受診結果（令和 3 年 4 月 30 日現在）

（単位：人・％）

区 分	総 数		41 歳		46 歳		51 歳		56 歳		61 歳				
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女			
受診者数	1,365	610	755	129	244	116	123	128	133	140	141	97	114		
検診結果	精検不要者数 A群	1,109	500	609	102	216	98	94	115	106	113	110	72	83	
	要精検者数	256	110	146	27	28	18	29	13	27	27	31	25	31	
	内訳	B群	206	91	115	21	24	18	27	10	17	20	25	22	22
		C群	50	19	31	6	4	-	2	3	10	7	6	3	9
	要精検率	18.8	18.0	19.3	20.9	11.5	15.5	23.6	10.2	20.3	19.3	22.0	25.8	27.2	
B群	精検受診者数	145	66	79	16	19	12	18	8	11	13	17	17	14	
精密検査結果	B群 胃がん	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	がんの疑い	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	胃がん以外の疾患	140	66	74	16	17	12	15	8	11	13	17	17	14	
	異常なし	5	-	5	-	2	-	3	-	-	-	-	-	-	
C群	精検受診者数	33	11	22	2	4	-	1	2	9	5	3	2	5	
精密検査結果	C群 胃がん	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	がんの疑い	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	胃がん以外の疾患	33	11	22	2	4	-	1	2	9	5	3	2	5	
	異常なし	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

検診後の除菌状況（令和 3 年 4 月 30 日現在）

（単位：人）

区 分	総 数		41 歳		46 歳		51 歳		56 歳		61 歳			
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		
除菌者数	130	56	74	13	18	9	12	6	16	12	15	16	13	
内 訳	B群	101	45	56	11	14	9	12	4	8	7	13	14	9
	C群	29	11	18	2	4	-	-	2	8	5	2	2	4

(8) 健康診査

平成 18 年の医療制度改革において老人保健法が高齢者の医療の確保に関する法律に全面改正され、医療保険者に、40 歳以上 74 歳以下の被保険者及び被扶養者に対する生活習慣病予防に着目した特定健康診査及び特定保健指導が義務付けられた。これに伴い、老人保健法に位置づけられていた事業のうち、高齢者の医療の確保に関する法律に定められたもの以外については、健康増進法に基づく健康増進事業として市町村が引き続き実施することとされた。これにより平成 20 年 4 月 1 日から大津市国民健康保険の保険者として特定健康診査及び特定保健指導を、滋賀県後期高齢者医療広域連合からの委託を受け後期高齢者医療制度の被保険者を対象とした健康診査を実施している。また、医療保険に加入していない生活保護受給者等を対象とし、健康増進法に基づく基本健康診査を実施している。

① 後期高齢者健康診査

対象者 滋賀県後期高齢者医療制度被保険者

(ただし、平成 27 年度より、委託元である滋賀県後期高齢者医療広域連合の方針に従い、要介護認定を受けている者及び生活習慣病により定期的に受診している者は対象外)

実施場所 県内登録医療機関において実施

実施期間 令和 2 年 7 月から令和 3 年 1 月 31 日まで

健診内容 基本項目 (問診、身体計測、血圧、血液検査、尿検査)

(受診状況)

(令和 2 年度)

区分	総数	65～74 歳	75～79 歳	80～84 歳	85～89 歳	90～94 歳	95～99 歳	100 歳以上
対象者数 (人)	13,008	67	6,681	3,252	1,836	865	261	46
受診者数 (人)	3,260	10	2,019	829	295	92	14	1
受診率 (%)	25.1							

② 基本健康診査

対象者 当該年度において 40 歳以上で医療保険に未加入の大津市生活保護受給者等

(ただし、75 歳以上の者については、後期高齢者健康診査の対象者の変更に併せ、要介護認定を受けている者及び生活習慣病により定期的に受診している者は対象外)

実施期間 令和 2 年 7 月から令和 3 年 1 月 31 日まで

健診内容 基本項目 (問診、身体計測、血圧、血液検査、尿検査)

追加項目 (血液検査&尿検査) ※75 歳未満、(血液検査) ※75 歳以上

詳細項目 (心電図検査、眼底検査、貧血検査) ※75 歳未満の該当者のみ実施

保健指導 ※75 歳未満の該当者で希望する者に実施

(受診者数)

(令和 2 年度)

区分	総数		40～44 歳		45～49 歳		50～54 歳		55～59 歳		60～64 歳		65～69 歳		70～74 歳		75 歳以上		
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
対象者数 (人)	2,763	1,354	1,409	61	80	97	115	136	134	150	112	162	103	172	130	275	232	301	503
受診者数 (人)	249	123	126	7	7	5	9	9	14	17	12	14	14	17	14	29	23	25	33
受診率 (%)	9.0	9.1	8.9																